

# 礼拝説教要旨

2011年6月5日  
赤江弘之牧師

## 『目的を持って生きる』

エペソ 1 : 5 ~ 12

はじめに

目的を持つことは聖書的か

「この方にあつて私たちは御国を受け継ぐ者ともなりました。みこころによりご計画のままをみな行方う方の目的に従つて、私たちはあらかじめこのように定められていたのです。」

エペソ 1 : 11

「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」

黙示 4 : 11

目的の与える効果

・力を集中させる

「兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕らえたなどと考えるはしません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、」

ピリピ 3 : 13

・協力を引き出す

「ピリピの人たち。あなたがたも知っているとおりに、私が福音を宣べ伝え始めたころ、マケドニヤを離れて行ったときには、私の働きのために、物をやり取りしてくれた教会は、あなたがたのほかには一つもありませんでした。」

ピリピ 4 : 15

・評価を助ける

「あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。それとも、あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分で認めないのですか—あなたがたがそれに不適格であれば別です。」

Ⅱコリント 13 : 5

目的声明文の根拠

牧会理念 マタイ 9 : 35

大命令 マタイ 22 : 37 ~ 40

大宣教命令 マタイ 28 : 19 ~ 20

人生の五つの目的と教会の目的声明文

礼拝—礼拝の中で神の臨在を喜ぶ

宣教—伝道により神のことばを伝達する

加盟—神の家族を交わりの中へ迎える

成熟—弟子訓練により神の民を教育する

奉仕—仕えることにより神の愛を証しする

むすび ルカ 19 : 10

目的声明文

私たちの教会の目的は、失われた人々を捜し出し、神の家族の交わりに迎え入れ、キリストに似た者として共に成熟し、教会に仕える奉仕と、この世における宣教のために遣わされ、神に栄光を帰することです。